

# 平成 24 年度 霞ヶ浦の水質概況について

平成 25 年 7 月 19 日（金）  
生活環境部環境対策課水環境室

## 1 湖内の状況

- 平成 24 年度の COD は、全水域平均で 7.8mg/L となり、平成 23 年度（8.2mg/L）より 0.4mg/L 低くなり、3 年連続の低下となった（表 1・図 1）。
- 全窒素は、全水域平均で 1.0mg/L となり、平成 23 年度（1.2mg/L）より 0.2mg/L 低くなったが、全体として見れば横ばいである（表 2・図 2）。
- 全りんは、全水域平均で 0.084mg/L となり、平成 23 年度（0.081mg/L）よりもわずかに高くなったが、近年、低下傾向を示し始めている（表 3・図 3）。

## 2 流入河川の状況

- 流入河川の水質は、西浦及び北浦ともに、COD 及び全りんについては、長期的に改善傾向にあるが、近年、改善度合いが鈍化している（図 4・6）。
- 全窒素は、北浦流入河川で上昇してきたが、近年、上げ止まった。また、西浦の流入河川では改善傾向にある（図 5）。

表 1 湖内の COD の年間平均値 (mg/L)

水域/年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
西 浦	7.5	7.8	7.6	8.2	8.5	8.4	9.3	8.2	8.1	7.5
北 浦	7.7	8.3	7.7	8.4	9.5	9.3	10	9.1	8.0	8.3
常陸利根川	7.2	7.7	7.4	8.1	8.8	8.7	9.3	9.2	8.5	8.0
全水域平均	7.5	7.9	7.6	8.2	8.8	8.7	9.5	8.7	8.2	7.8

表 2 湖内の全窒素の年間平均値 (mg/L)

水域/年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
西 浦	0.95	1.2	1.1	0.99	1.1	1.4	1.2	1.3	1.2	1.0
北 浦	0.88	1.5	1.1	0.93	1.2	1.3	1.2	1.6	1.6	1.2
常陸利根川	0.84	0.92	1.0	0.83	1.1	1.2	0.96	1.1	0.93	0.91
全水域平均	0.91	1.2	1.1	0.93	1.1	1.3	1.1	1.3	1.2	1.0

表 3 湖内の全りんの年間平均値 (mg/L)

水域/年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
西 浦	0.11	0.10	0.11	0.10	0.10	0.11	0.099	0.090	0.076	0.084
北 浦	0.099	0.13	0.092	0.11	0.13	0.16	0.12	0.13	0.093	0.090
常陸利根川	0.083	0.088	0.093	0.096	0.11	0.12	0.096	0.10	0.081	0.080
全水域平均	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	0.12	0.10	0.10	0.081	0.084

出典：国土交通省霞ヶ浦河川事務所データ

<湖内の水質変化>

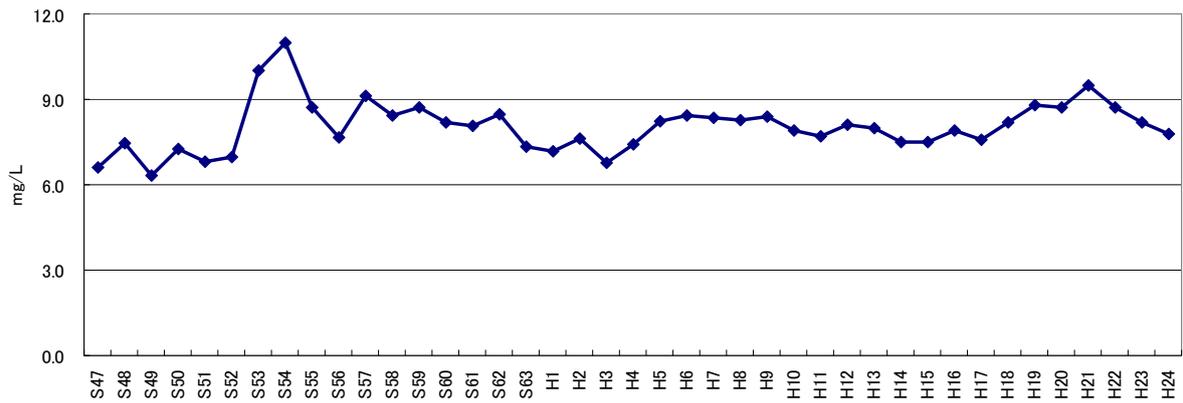


図1 湖内(全水域平均)のCOD

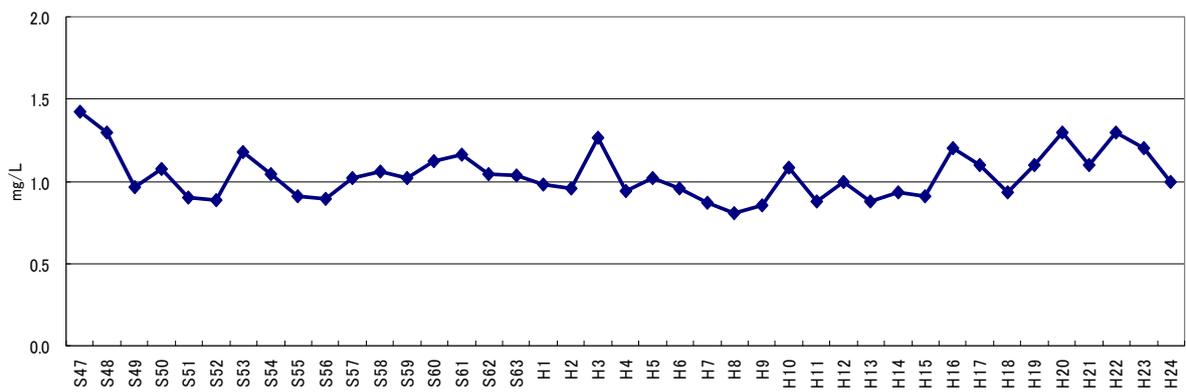


図2 湖内(全水域平均)の全窒素

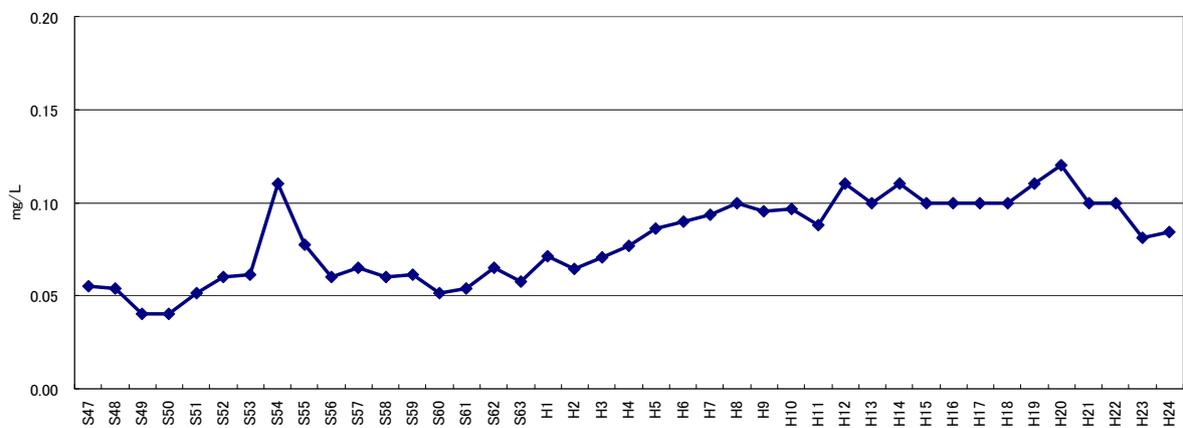


図3 湖内(全水域平均)の全りん

<流入河川の水質変化>

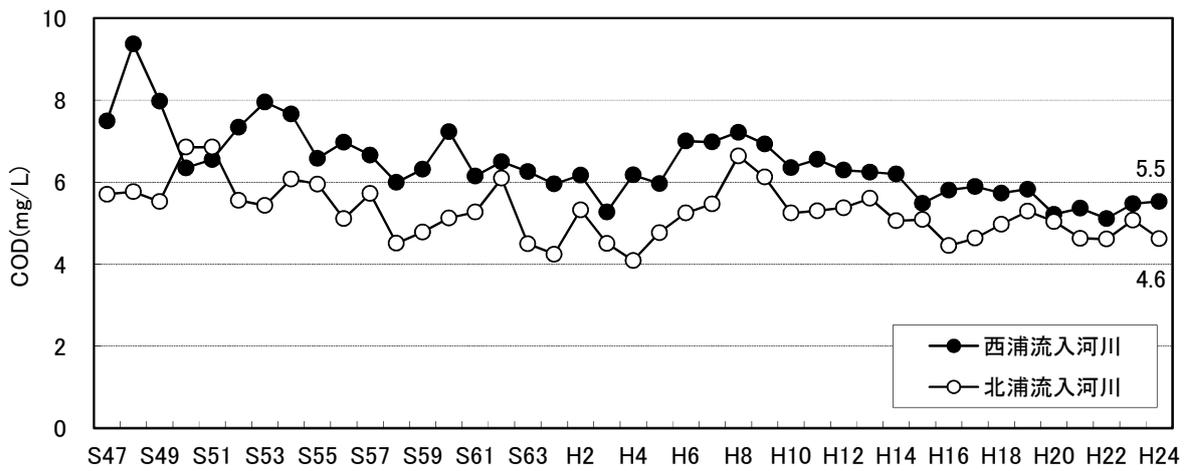


図4 流入河川のCOD(年間加重平均値)

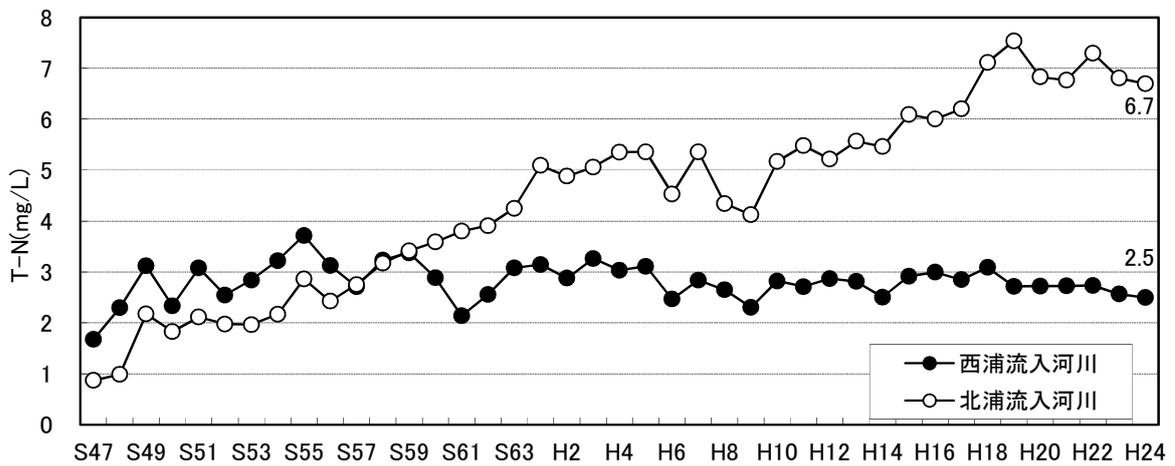


図5 流入河川の全窒素(年間加重平均値)

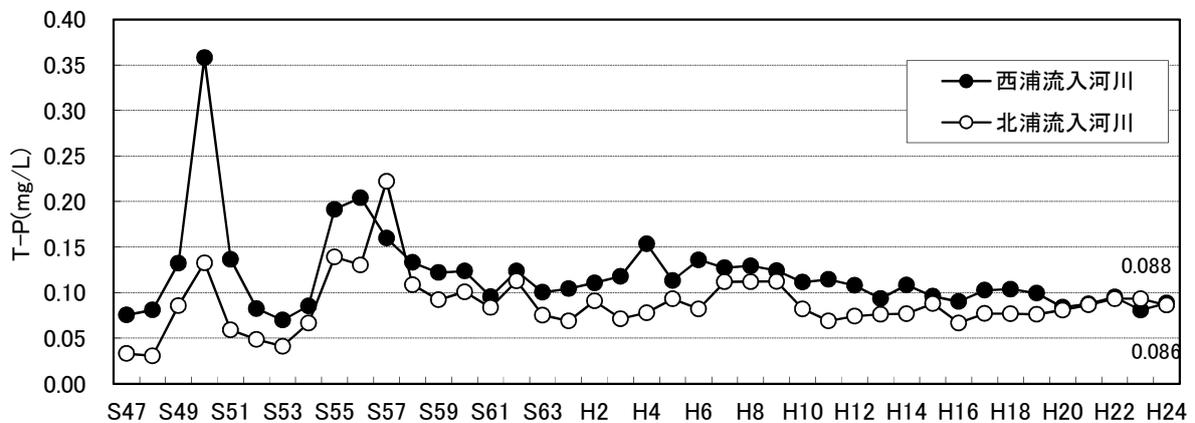


図6 流入河川の全りん(年間加重平均値)